

令和8年2月吉日

保護者の皆様

弥富市立栄南小学校長
加藤 結花

学校評価アンケートの集約結果について（ご報告）

日頃は本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、12月に保護者の皆様に「学校評価アンケート」をお願いしましたところ、快くご回答いただきありがとうございます。保護者アンケート及び児童アンケートの集約結果は裏面の通りです。この集約結果を参考にして、今後の栄南小学校の教育活動の在り方を考え、いっそう保護者や地域の皆様に信頼される学校をめざし、努力していききたいと思います。

【アンケート結果から】

- ・ 質問項目ごとに、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせて80%以上のものを「A」80%未満から60%以上を「B」60%未満を「C」と設定しました。保護者アンケートでは、20項目中、A評価が18項目、B評価が2項目、C評価はありませんでした。児童アンケートでは、21項目中、A評価が19項目、B評価が2項目、C評価はありませんでした。
- ・ 児童アンケートでは、「分かりやすい授業」について、昨年度より肯定的評価が増えましたが、保護者アンケートではB評価と昨年度よりも下がりました。今年度は特に、児童が思考したことを表出し、互いに意見を出し合いながら課題解決に取り組む「学び合い」を多く取り入れました。協働的な学びの場面を多く取り入れたことで、個別の支援を必要としている児童への配慮の仕方について検討する必要があると考えました。「基礎学力を身に付けるための指導」とともに、今後もどの児童にも分かるような授業計画や授業の流れについて工夫を加えていきます。
- ・ 児童アンケートでは、「先生への相談」について、昨年度より肯定的評価が増えました。教職員が学校全体で児童を見守るという意識をもち、適切な情報共有や支援・指導の在り方を適宜話し合い、児童の学校生活を見守る体制づくりに努めています。
- ・ 「安心して過ごせる学級づくり」については、保護者・児童ともにA評価でした。スリンプログラムを中心に、教科学習や異学年交流の中で人との関わりの力を伸ばし、多様な価値観を認め合う中で、自分のよさを発揮し充実感を感じられるような「居場所づくり」を行います。また、児童の自主性を尊重し、目標に向かって互いに励まし合いながら成長できる集団づくりを目指した「絆づくり」を行います。
- ・ 「いじめのない学校づくり」の取組に関しては、昨年度と変わらない評価をいただきました。児童の様子に目を配り、学校における未然防止の取組についてより発信していくとともに、担任からの電話連絡等、日頃の情報交換を今後も密に行っていきます。
- ・ 本校で継続して実施している「えいなんタイム」では、児童が自ら課題を見つけて学習に取り組むようにしています。児童アンケートによると、家庭学習の習慣については、昨年度よりも肯定的評価が増えました。引き続き、具体的な自主勉強の方法を「えいなんタイム」で伝え、また、タブレット端末の活用を工夫し、家庭学習でも生かせるようにします。

日頃から、保護者の皆様から職員が努力していることのお礼や学校としての対応についてのご意見を多数いただき、ありがとうございます。学校をよりよくするための一助として真摯に受け止め、今後も、教職員一同「笑顔と協働の学校づくり」を目指していききたいと思います。